

## 「大学における視覚，ディレクションと制作の視点から」

今日，私たちをとりまく環境には，途方もない情報があふれています．1993年に画像を表示できるウェブブラウザ Mosaic がリリースされてから，20年が経った現在，イメージは，私たちの生活においてますます大きな比重を占めつつあります．W. J. T. ミッチェルは，社会的関係の媒介に，視覚が言語と同じように重要であると指摘しています．とすると，私たちが社会において様々な関係を取り結んでいくに際して，見ることに對する理解が必須であり，大切なわけです．しかし，そうした視覚的なりテラシーの必要性と重要性にもかかわらず，視覚の科学は，いまだ研究領域として確立されているとは言い難い状況にあります．このシンポジウムは，研究・教育にかかわる視覚をテーマに開催されます．社会と深く関わりながら，実践的に，また現場に近い立場で活動する研究者が，多様な分野から講演，報告し，議論します．

**会期：2013年10月12日 [土] - 13日 [日]**

**会場：名古屋大学情報科学棟第1講義室**



主催：科学研究費「大学におけるヴィジュアルリテラシー教育に関する調査・研究」

共催：名古屋大学大学院情報科学研究科，情報文化学部  
デザインリテラシー研究会

参加費：無料

ケータリング：フードトラック・ポジティブフードカフェポウ



### 関連展

幸村真佐男「People Gazing」

会期：2013年10月1日 [火] - 13日 [日] (5日 [土], 6日 [日] は休み)

10h - 18h

会場：教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

連絡先：名古屋大学大学院情報科学研究科茂登山研究室

VisualLiteracyNU@gmail.com

# International Symposium Visual Literacy

### プログラム

10月12日 [土]

13h あいさつと趣旨説明

13h10 「ヴィジュアルリテラシーへの期待 - 視覚の諸相から -」  
水内智英 | 名古屋芸術大学デザイン学部

13h50 「共感の設計—発達障害とメディアアート—」  
村上泰介 | 愛知産業大学造形学部

14h20 ポスター・デモとカフェ  
「展覧会アーカイブのARによる展開」(仮)  
稲垣拓也，茂登山清文 | 名古屋大学大学院情報科学研究科

「水の楽器「wm」における視覚的な操作フィードバック」  
定国伸吾 | 大同大学情報学部

「プレゼンテーション制作支援のための表現・操作系」  
花植康一 | 名古屋大学大学院情報科学研究科

「研究のアウトリーチにおけるヴィジュアルリテラシー」  
比留川治子 | 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM)

「美的経験をアーカイブする：人の最も印象深いアートの体験を収集・比較・提示するオンラインプラットフォーム」  
マシュー・ベラウスキー，宮田高士，茂登山清文 | 名古屋大学大学院情報科学研究科

「共感の設計—発達障害とメディアアート— (デモ)」  
村上泰介 | 愛知産業大学造形学部

15h 「科学研究を加速するサイエンスデザイナー—ITbMの国際化戦略—」  
佐藤綾人 | 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM)

15h30 「ビクトグラムの理解に関する認知心理学的研究—診療科ビクトグラムの開発と評価—」  
北神慎司 | 名古屋大学大学院環境学研究所

16h 「デジタルカメラワークショップによる博物館体験—トヨタ産業記念館の事例より—」  
宮下十有 | 椋山女学園大学文化情報学部

16h30 アート&カフェ (以後，プロジェクトギャラリー「clas」)

17h ギャラリートーク「People Gazing」  
幸村真佐男 | アーティスト / 中京大学理工学部，津田佳紀 | 名古屋芸術大学デザイン学部

10月13日 [日]

13h 導入 (逐語通訳あり)

13h05 招待講演1 「進化と革命：日本のデジタルスナップ写真を読み解く」  
ジョン・トラン氏 | アーティスト / 研究者

14h25 カフェ

14h40 招待講演2 「ヴィジュアルリテラシーあるいはリテラシーの敏捷性？：デジタル情報時代における組み替え可能なスキルを探る」  
トレイシー・パウエン氏 | トロント大学

16h パネルディスカッション  
トラン氏，パウエン氏，茂登山清文

17h フェアウェル (プロジェクトギャラリー「clas」)